

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ナガホリ

コード番号 8139 URL <http://www.nagahori.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長堀 慶太

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 笹岡 悠一

TEL 03-3832-8266

四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

配当支払開始予定日

平成20年12月1日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	8,221	—	143	—	23	—	△89	—
20年3月期第2四半期	8,382	△9.2	97	△68.3	53	△79.8	12	△90.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	△5.65	—
20年3月期第2四半期	0.80	0.80

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第2四半期	24,342	—	14,642	—	60.0	—	920.52	
20年3月期	24,262	—	14,802	—	60.9	—	930.73	

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 14,610百万円 20年3月期 14,774百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
21年3月期	—	5.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,200	△5.9	400	△18.7	200	△51.0	50	△71.0	3.15

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

[(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 16,773,376株 20年3月期 16,773,376株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 901,376株 20年3月期 899,155株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 15,873,288株 20年3月期第2四半期 16,185,713株

* 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における我が国経済は、米国景気の後退、原油・原材料価格の高騰などにより企業収益は悪化、設備投資や個人消費が伸び悩み、景気減速傾向が強まる状況で推移していましたが世界的な金融危機から先行不透明感を一層強めております。

こうした中、当社グループは前期末よりスタートした「スイートテン・ダイヤモンド」、「ロイヤル・アッシャー・ダイヤモンド」が順調に推移しましたが、高額商品の売上が伸び悩み、当第2四半期累計期間の連結売上高は8,221百万円（前年同期比1.9%減）となりました。連結営業利益につきましては、8月以降急落したプラチナ地金の評価損79百万円を計上しましたが143百万円（前年同期比47.6%増）となりました。連結経常利益につきましては、プラチナの先物取引による評価損等38百万円が発生し23百万円（前年同期比55.2%減）となり、投資有価証券の評価損等87百万円を特別損失に計上した結果、連結四半期純損失は89百万円となりました。

なお、前年同期比は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産の部

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して80百万円増加し、24,342百万円となりました。

流動資産は154百万円増加して16,486百万円となりました。主な要因は売掛金・受取手形の増加291百万円、前渡金の減少190百万円等によるものです。

固定資産は74百万円減少して7,856百万円となりました。有形固定資産は47百万円減少して4,848百万円となりました。無形固定資産は36百万円増加して147百万円となりました。投資その他の資産は63百万円減少して2,860百万円となりました。

(2) 負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して239百万円増加して9,700百万円となりました。

流動負債は375百万円増加して8,791百万円となりました。主な要因は短期借入金の増加295百万円、未払法人税等の増加101百万円等によるものです。

固定負債は135百万円減少して908百万円となりました。主な要因は役員退職慰労引当金の減少100百万円です。

(3) 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末と比較して159百万円減少して14,642百万円となりました。主な要因は配当金79百万円、当四半期純損失の計上89百万円によるものです。

(4) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末の現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより1,162百万円となり、前連結会計年度末に比べ150百万円減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は165百万円です。主な要因は売上債権の増加308百万円、役員退職慰労引当金の減少100百万円、仕入債務の増加106百万円、減価償却費115百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は149百万円です。主な要因は定期預金の預入による支出200百万円、無形固定資産の取得56百万円、保険積立金の解約による収入158百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は165百万円です。主な要因は短期借入金の純増加額295百万円、配当金の支払額79百万円です。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の国内経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発し、リーマンブラザーズの破綻から発生した未曾有の金融混乱、信用収縮、株価急落、急速な円高進行などの影響を受けて景気の後退感が一層強まっており、個人消費の低迷から当宝飾業界におきましても経営環境はかつてない厳しいものとなるものと考えられます。

当社グループにおきましても今後の経済情勢、市場動向を勘案の上業績予想の見直しを行った結果、平成20年5月9日付当社「平成20年3月期決算短信」にて発表いたしました平成21年3月期の業績予想（連結・個別）を修正しております。詳細は平成20年10月30日に別途開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

③繰延税金資産の回収可能性の判断

前年度末において使用した将来業績予測やタックス・プランニングを利用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②棚卸資産の評価基準及び評価方法の変更

棚卸資産については、従来、主として個別法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、主として個別法による原価法（貸借対照表については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算出しております。この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,162,601	1,312,692
受取手形及び売掛金	2,637,889	2,345,986
商品	10,565,346	10,555,270
製品	810,912	694,286
原材料	280,667	352,187
仕掛品	495,747	515,964
貯蔵品	95,520	95,188
繰延税金資産	203,029	140,056
その他	273,650	359,032
貸倒引当金	△39,178	△39,331
流動資産合計	16,486,186	16,331,334
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,168,478	3,159,716
減価償却累計額	△1,948,563	△1,902,158
建物及び構築物（純額）	1,219,915	1,257,558
機械装置及び運搬具	1,471,193	1,448,626
減価償却累計額	△1,230,037	△1,201,394
機械装置及び運搬具（純額）	241,155	247,231
土地	3,179,658	3,179,658
その他	666,370	661,935
減価償却累計額	△458,610	△450,049
その他（純額）	207,760	211,885
有形固定資産合計	4,848,489	4,896,334
無形固定資産		
無形固定資産合計	147,904	111,055
投資その他の資産		
投資有価証券	900,698	1,007,847
長期貸付金	264,657	265,257
繰延税金資産	309,841	311,162
その他	1,829,153	1,781,738
貸倒引当金	△444,178	△442,017
投資その他の資産合計	2,860,172	2,923,989
固定資産合計	7,856,566	7,931,379
資産合計	24,342,753	24,262,713

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	843,697	863,831
短期借入金	7,269,000	6,974,000
1年内返済予定の長期借入金	20,004	60,004
未払法人税等	101,157	—
賞与引当金	103,440	95,399
役員賞与引当金	19,854	26,100
その他	434,647	396,923
流動負債合計	8,791,800	8,416,258
固定負債		
長期借入金	4,981	14,983
退職給付引当金	285,966	263,664
役員退職慰労引当金	346,107	446,282
再評価に係る繰延税金負債	64,903	64,903
その他	206,458	254,560
固定負債合計	908,416	1,044,394
負債合計	9,700,217	9,460,653
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,323,965	5,323,965
資本剰余金	6,275,173	6,275,173
利益剰余金	4,417,954	4,587,055
自己株式	△369,012	△368,403
株主資本合計	15,648,081	15,817,790
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△32,138	△19,568
繰延ヘッジ損益	△40,604	△58,665
土地再評価差額金	△964,867	△964,867
評価・換算差額等合計	△1,037,610	△1,043,102
少数株主持分	32,063	27,370
純資産合計	14,642,535	14,802,059
負債純資産合計	24,342,753	24,262,713

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	8,221,858
売上原価	5,408,021
売上総利益	2,813,837
販売費及び一般管理費	2,670,020
営業利益	143,816
営業外収益	
受取利息	1,951
受取配当金	8,816
投資有価証券売却益	799
保険解約返戻金	16,264
その他	9,612
営業外収益合計	37,444
営業外費用	
支払利息	70,783
手形売却損	12,148
持分法による投資損失	25,618
為替差損	7,317
デリバティブ評価損	38,144
その他	3,426
営業外費用合計	157,438
経常利益	23,823
特別利益	
有形固定資産売却益	9,946
特別利益合計	9,946
特別損失	
投資有価証券評価損	71,123
たな卸資産評価損	15,778
その他	696
特別損失合計	87,598
税金等調整前四半期純利益	△53,828
法人税、住民税及び事業税	96,628
法人税等調整額	△65,420
法人税等合計	31,208
少数株主利益	4,692
四半期純利益	△89,728

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	△53,828
減価償却費	115,932
投資有価証券評価損益 (△は益)	71,123
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,007
退職給付及び役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△77,874
受取利息及び受取配当金	△10,767
支払利息	70,783
持分法による投資損益 (△は益)	25,618
有形固定資産売却損益 (△は益)	△9,946
売上債権の増減額 (△は増加)	△308,760
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△35,296
仕入債務の増減額 (△は減少)	106,574
その他	△3,356
小計	△107,790
利息及び配当金の受取額	10,800
利息の支払額	△72,903
法人税等の支払額	4,528
営業活動によるキャッシュ・フロー	△165,364
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△200,000
有形固定資産の取得による支出	△50,452
有形固定資産の売却による収入	12,649
無形固定資産の取得による支出	△56,655
投資有価証券の取得による支出	△16,514
保険積立金の解約による収入	158,160
貸付金の回収による収入	1,600
その他	1,468
投資活動によるキャッシュ・フロー	△149,744
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	295,000
長期借入金の返済による支出	△50,002
自己株式の取得による支出	△608
配当金の支払額	△79,371
財務活動によるキャッシュ・フロー	165,017
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△150,090
現金及び現金同等物の期首残高	1,312,692
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,162,601

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

事業の種類として「宝飾事業」「健康産業事業」および「不動産事業」に区分していますが、「宝飾事業」の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%をこえているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額 (百万円)	百分比 (%)
I 売上高		8,382 100.0
II 売上原価		5,665 67.6
売上総利益		2,716 32.4
III 販売費及び一般管理費		2,619 31.2
営業利益		97 1.2
IV 営業外収益		49 0.6
1. 受取利息及び受取配当金	13	
2. 為替差益	12	
3. その他の営業外収益	23	
V 営業外費用		94 1.1
1. 支払利息	67	
2. 手形売却損	15	
3. その他の営業外費用	11	
経常利益		53 0.7
VI 特別利益		19 0.2
1. 貸倒引当金戻入益	15	
2. 固定資産売却益	4	
VII 特別損失		— —
税金等調整前中間純利益		73 0.9
法人税、住民税及び事業税		62
法人税等調整額		△2
中間純利益		12 0.2

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	73
減価償却費	98
貸倒引当金の減少額	△15
役員退職慰労引当金の増加額	6
退職給付引当金の増加額	22
受取利息及び受取配当金	△13
支払利息	67
持分法による投資損益	10
為替差益	△0
売上債権の減少額	421
棚卸資産の増加額	△542
投資有価証券売却益	△10
仕入債務の増加額	56
役員賞与の支払額	△28
その他	△47
小計	99
利息及び配当金の受取額	13
利息の支払額	△64
法人税等の支払額	△103
営業活動によるキャッシュ・フロー	△54
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△106
有形固定資産の売却による収入	4
無形固定資産の取得による支出	△12
投資有価証券の取得による支出	△17
投資有価証券の売却による収入	110
貸付金の回収による収入	1
その他	△56
投資活動によるキャッシュ・フロー	△76

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (百万円)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	875
長期借入金の返済による支出	△328
自己株式の取得による支出	△125
配当金の支払額	△81
財務活動によるキャッシュ・フロー	339
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△3
V 現金及び現金同等物の増加額	208
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,197
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	1,405